

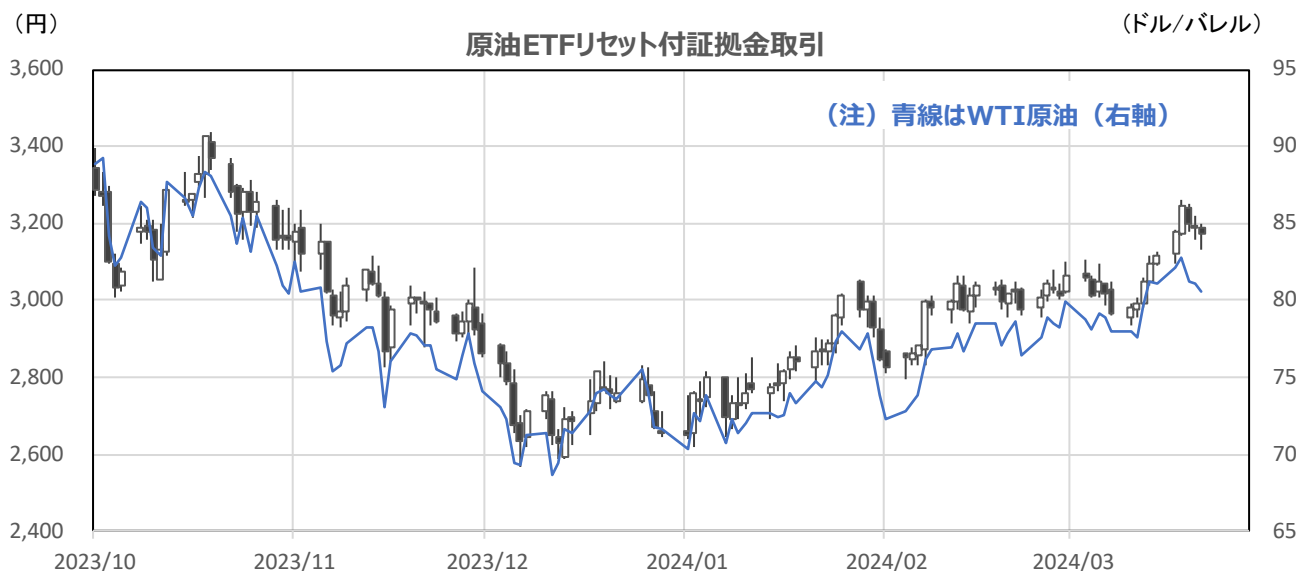
原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2024/03/25号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



(出所) Refinitivよりマーケットエッジ作成

高値更新後に利食い売り膨らむ

NY原油先物相場は、1バレル=83.12ドルまで値上がりして昨年11月3日以来の高値を更新した後、80ドル台中盤まで反落する展開になった。前週比では小幅下落している。週を通じて新規売買材料は乏しかったが、中東とロシアの地政学リスクの高まりに加えて、需給見通しの改善を受けて、高値更新が続いた。ただし、週後半は短期的な過熱感に加えて、イスラエルとハマスの休戦協議を巡る動向が警戒され、短期筋の利食い売りが優勢になった。

イスラエルは、ラマダン（断食月）に入った後も、ガザ地区南部を中心に激しい戦闘を続けている。ハマスが改めて示した休戦案についても、イスラエルは「非現実的」としており、未だに休戦実現の見通しは立っていない。22日にプリンケン米務長官がイスラエル入りしたが、イスラエルのネタニエフ首相は米国の支援がなくてもハマスを掃討を続ける方針を示している。ただし、各国が休戦に向けての調整に動いているため、買いポジション保有のリスクも警戒され、短期筋が利食い売りに動いた。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（3月15日時点）は、原油が前週比195万バレル減、ガソリンが331万バレル減、石油精製品が62万バレル増となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

地政学リスクと需給改善で底固い、休戦の動きには要注意

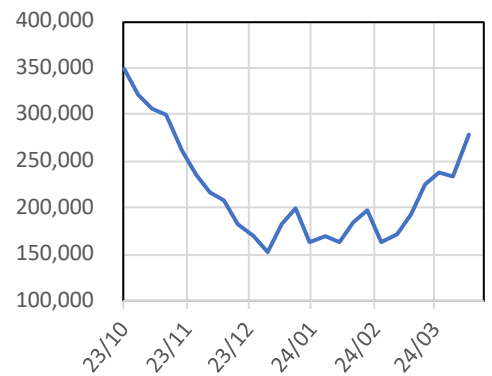
地政学リスクの高まりと需給見通しの改善を受けて、底固い展開が続く見通し。80ドル台前半が通常の価格水準として受け入れられ始めており、慎重に取引レンジを切り上げる展開が続こう。引き続き最大の関心事は地政学リスクであり、中東で激しい戦闘が続く一方、ロシア石油施設に対するドローン攻撃のリスクが警戒されると、期近限月を中心とした堅調地合が続きやすい。

ウクライナは1月に続いて3月もロシアの石油関連施設に対してミサイル、ドローンによる攻撃を実施している。ロシアエネルギー省はミサイル防空網を設置するとしているが、高いレベルの緊張感が維持される。ロシア軍は逆にウクライナのエネルギーインフラに対する攻撃を強化しており、ウクライナとロシアが互いにエネルギー関連施設に対する攻撃を繰り返すと、ロシア産石油の供給不安が値上がりを促す可能性がある。

一方、中東情勢は依然として緊迫化しているが、米政府はイスラエルに対して6週間の休戦を呼び掛けており、3月22日には国連安全保障理事会で「持続的な即時停戦」の決議案が採決されている。国連決議案は中口の拒否権発動で否決されたが、休戦を求める国際世論が強まる中、イスラエルが休戦に前向きな姿勢を見せると急落するリスクを抱えた状態に変化はみられない。

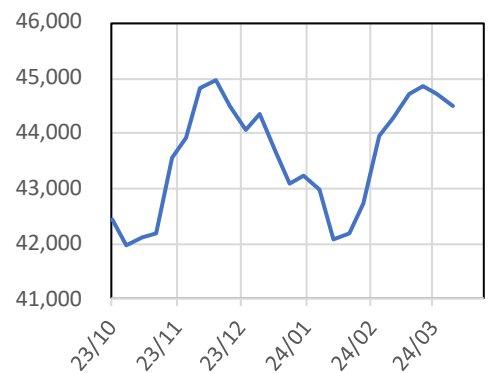
需給面では、国際エネルギー機関（IEA）が3月14日に通年で「若干の供給不足」になる見通しを示したこともあり、需要リスクを手掛りに売り込むような動きには一服感がある。引き続き地政学リスクの評価に強く依存する展開が想定される。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



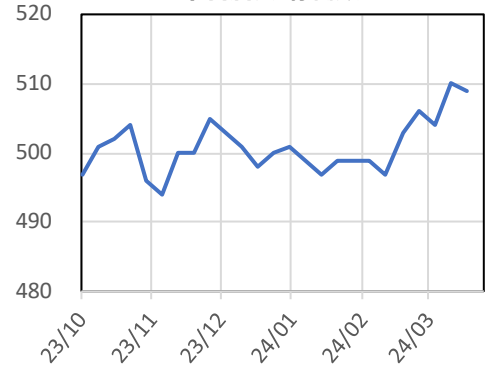
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

